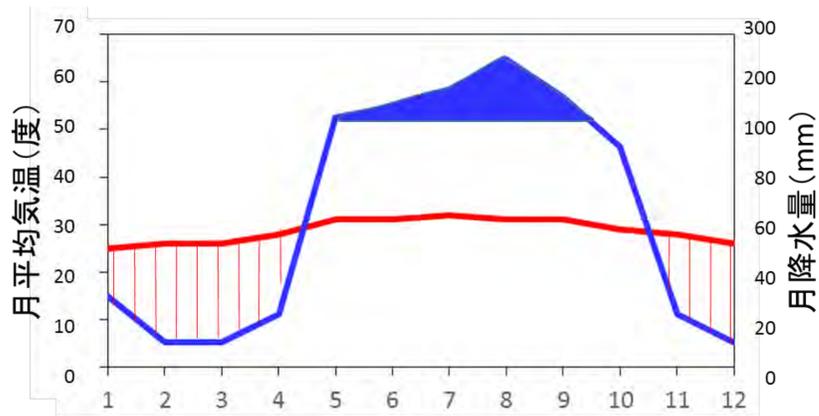


# カンボジア国の森林

清野嘉之、伊藤江利子（森林総研）

カンボジアは一年の間で雨季と乾季がはっきりと分かれるサバナ気候にあり、森林の大半は熱帯季節林に分類されます。そのうち常緑林、混交林、落葉林は面積、蓄積ともに大きく、インドシナ内陸部を代表する森林です。肥沃で地利に恵まれた地域から、農地やゴム林への転換が進んでいます。



カンボジア(シェムリアップ)の温雨図

森林の種類	森林局による土地利用区分
熱帯季節林	常緑林、混交林(半常緑林)、落葉林
同二次林	再生林、竹林、常緑低木林、落葉低木林
淡水湿地林	浸水林
ヒース林	常緑低木林？落葉低木林？
人工林	人工林



常緑林



混交林(半常緑林)



落葉林



淡水湿地林(浸水林)



ヒース林



人工林(ゴム林)

森林は森林局と環境省、農水省が独立に所管しています。森林率は2010年に57%(森林局)と比較的高いものの、価値の高い大径木はしばしば抜き伐りされています。

本研究を実施するにあたり、下記の方の協力を得ました。

Thy Sum (Ministry of Environment, Cambodia), Sophal Chann (Forestry Administration, Cambodia)